

令和 6 年 7 月 4 日

意見発表

◆亀井たかつぐ委員

公明党神奈川県議団を代表して、本委員会に付託をされました諸議案等について意見、要望を申述べます。

まずは、スポーツツーリズムについてです。

神奈川県に県外から来られてスポーツと観光を楽しんでいただくことは、神奈川県としての資源を生かすという観点からも非常に素晴らしいことと思います。県は、サイクルツーリズムに力を入れています。そのこともあってか、最近、本格的にサイクリングをされに來られる方々を、私の地元、三浦半島でも見かけることが多くなりました。ただ、スポーツツーリズムの取組は、スポーツに興味のない方にスポーツの魅力を感じてもらい、神奈川県に来て、スポーツと観光を気軽に楽しんでいただくということがより大切なことと考えます。ぜひ本格的にスポーツにいそしんでいる方々だけでなく、神奈川県に来て初めてスポーツに触れ、素晴らしい景観にも魅了され、何度もそのスポーツを楽しむために神奈川県に来ていただけるような方々を増やす取組と啓発を、より一層進展されることを要望します。

次に、e スポーツの取組についてです。

e スポーツは、老若男女を問わずできるスポーツです。特に、高度な認知機能が必要な場面が多く含まれ、脳の活性化に寄与することから、認知症予防についても現在、研究が進んでいます。また、障害者やひきこもりの方々にも受け入れやすいスポーツでもあります。しかし一方で、特に若年層において、e スポーツに多くの時間を費やすことで、学業や他の重要な活動に影響を与える可能性がある等の、過度の依存が問題になることが懸念されます。よって、e スポーツについては文化スポーツ観光局だけでなく、健康医療局や教育局等、他部局横断的にしっかりと連携を取って進めていただくことを要望します。

次に、県民ホールの再整備についてです。

県民ホールは、施設の老朽化により、令和 7 年 3 月をもって休館することとなっております。今後の在り方について、情報の収集、試算、分析などを行う予備調査を業務委託により実施し、三つの案をパターン案として設定し、モデルプランや建築費の概算等を作成し、お示しいただきました。しかし、横浜市のまちづくりビジョンが作成中であり、山下公園通り沿いの地区計画についてはいまだ不透明とのことでした。せっかくのパターンが、横浜市のまちづくりビジョンの内容によっては全て無駄になることも考えられます。よって、県は、横浜市と再度、綿密に連携を取り、山下公園通り沿いの地区計画についてリサーチし、今後の県民ホールの再整備についての最適解を早急に導き出すことを要望します。

以上、意見、要望を申し上げまして、本委員会に付託をされた諸議案に賛成をさせていただいて、意見発表とさせていただきます。